

2023年度

多摩信用金庫

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の取組状況について

---

## ■お客さま本位の業務運営に関する基本方針

1. お客さまお一人おひとりに寄り添った、課題解決に取り組みます
2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います
3. お客さまのご意向を伺ったうえで、適切な商品・サービスのご案内を行います
4. お客さまへの質の高い課題解決を実践する職員育成を行います

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 1. お客さまお一人おひとりに寄り添った、課題解決に取り組みます

方針：当金庫は、お客さまお一人おひとりに寄り添い、夢の実現や悩み・不安など課題解決に向けた取り組みを徹底します。

### 経営理念

たましんは、お客さまの幸せを創造する企業

たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり



- お客さまの暮らしの課題を解決する活動を通じて「お客さまの幸せづくり」を実現し、お客さまのご支持・ご期待を得ることで地域の課題解決インフラとしての経営基盤を強化します。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 1. お客さまお一人おひとりに寄り添った、課題解決に取り組めます

主な取り組み： お客さまのライフステージ、ライフイベントごとに発生する暮らしの課題や不安を整理・共有し、課題を解決する活動を徹底します。

取組状況： (1) すまいるプラザにおける個人のお客さまの相談件数

相談内容	2021年度	2022年度	2023年度
資産運用	6,631 件	6,482 件	7,429 件
保険	1,334 件	1,224 件	985 件
住宅・ローン	948 件	996 件	1,130 件
年金	1,575 件	1,607 件	2,246 件
相続	3,425 件	3,300 件	2,760 件
合計	13,913 件	13,609 件	14,550 件

- お客さまのライフイベント・ライフステージにおける様々な相談を承っています。
- 2023年度は新NISA制度の開始や市場環境の変化に伴い、資産運用などご自身のライフプランに関する相談が増加しました。
- お客さまお一人おひとりのニーズに合ったご案内により、課題解決に取り組んでまいります。

※電話相談件数を含みます。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 1. お客さまお一人おひとりに寄り添った、課題解決に取り組みます

主な取り組み： 当金庫は、高い専門性と職業倫理を保持し、お客さまお一人おひとりに合わせたコンサルティングを徹底することにより、お客さまにとって最善の利益を追求します。

取組状況： (2) モデルキャッシュフロー表の活用状況

### 「しんきん預かり資産ナビ」(タブレット端末)

The image displays three screenshots of the 'Shinkin Pre-savings Asset Navigator' app. The first screenshot on the left is a 'Future Projection' (未来予想図) for household accounts, showing a family and a projected cash flow table. The middle screenshot shows the 'CASHFLOW' section, featuring a bar and line graph of financial assets and a table with categories like 'Family Composition', 'Income', 'Expenditure', 'Education', 'Housing', 'Financial Assets', 'Insurance', 'Savings', and 'Gifts'. The right screenshot is a detailed spreadsheet of cash flow projections over 20 years, with columns for years and rows for various financial metrics.

※「しんきん預かり資産ナビ」の「コンサルティング営業支援ツール」は、株式会社ノースアイランドの企画・開発によるもので、著作権その他権利は同社に帰属します。  
ノースアイランド 特許第6882971号

- 預かり資産ご案内ツール「しんきん預かり資産ナビ」にモデルキャッシュフロー（家計診断シミュレーションに基づく将来のキャッシュフロー表）作成機能を搭載し、お客さまへのご案内時に活用しています。
- モデルキャッシュフロー表の作成により、世帯単位の課題が見える化し、お客さまの将来の夢や目標の実現をサポートする総合コンサルティングを行います。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## ■ 2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います

**方針** : 当金庫は、金融商品、サービスの提供にあたり、リスクとリターンの関係や取引の条件、ご案内する商品・サービスの選定理由等の重要な情報や、お客さまの投資判断に影響を与える手数料等費用の詳細について、適切な資料に基づき、お客さまお一人おひとりにとって分かりやすい丁寧な説明を行います。

**主な取り組み** : お客さまに直接ご負担いただく手数料のほか、保険会社から当金庫に支払われる特定保険商品の代理店手数料について、情報提供を行います。

**取組状況** : (1) 代理店手数料率を開示している特定保険商品 (2024年3月末)

保険商品	商品数	開示方法
外貨建一時払終身保険	4 商品	所定の「保険商品概要書」にて、販売手数料率を開示
外貨建一時払個人年金保険	2 商品	

■ お客さまの適切な投資判断にお役立ていただくため、外貨建保険商品の代理店手数料を開示しています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います

主な取り組み： 金融商品のご案内にあたっては、商品概要のほか、預金等との誤認防止、取引条件やリスク等の重要事項について、適切な資料を用いて説明を行います。

取組状況： (2) 「しんきん預かり資産ナビ」(タブレット端末)の活用



※ 「しんきん預かり資産ナビ」は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社の企画・開発によるもので、著作権その他権利は同社に帰属します。

- 「しんきん預かり資産ナビ」に対応したタブレット端末を全店のお客さまサービス課担当および店頭に導入しています。
- 「しんきん預かり資産ナビ」を活用し、ナビゲーションに基づく正しい販売フローで、手数料・その他の費用（信託報酬・信託財産留保額等の諸経費）のほか、重要事項（リスクとリターンの関係や取引条件、ご案内商品の選定理由等）について漏れなく分かりやすい説明を行っています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います

取組状況： (3) 「しんきん預かり資産ナビ」による各種チェック項目の活用

購入チェック		
科目	チェック項目	*チェック欄
共通	特殊情報照会を実施したか？（保険の場合、被保険者・親権者・保険料引落口座名義人含む）	<input type="checkbox"/>
	契約申込受付にあたり、お客さまが商品の内容や仕組み、その他重要事項等について十分に理解・了承していることを確認したか？	<input type="checkbox"/>
	お客さまのご意向や適合性をしっかりとヒアリング・把握した上で、お客さまの希望に沿った商品のご案内を行ったか？	<input type="checkbox"/>
	異例取引に該当した場合、各異例取引の販売ルールに則り、申込受付を行ったか？	<input type="checkbox"/>
	虚偽の事を告げての勧誘、又は虚偽の表示、誤解を生じさせるような表示により勧誘・受付を行っていないか？	<input type="checkbox"/>
	ご提案の際、断定的な判断の提供や確実であると誤解される恐れのあることを告げていないか？	<input type="checkbox"/>
	優越的な地位の濫用や、抱き合わせ販売をしていないか？	<input type="checkbox"/>
投資信託	代筆・無面談販売をしていないか？	<input type="checkbox"/>
	預金ではない旨および預金保険制度の対象外であることを説明を行ったか？	<input type="checkbox"/>
	「交付目論見書」等を用い、以下の事項を説明したか？ ①ファンドの特徴・保有するリスク ②申込単位と買付価格（いつの時点での基準価格） ③決算日と分配および分配金の受取方法 ④申込日がファンドの休業日に当たる場合	<input type="checkbox"/>
	契約締結前交付書面（契約概要・注意喚起情報）の交付説明をしたか？	<input type="checkbox"/>
	商品内容やその他保険契約者等に参考となる情報や提案理由等について適切に説明し、所定の書面を交付したか？	<input type="checkbox"/>
	指定代理請求人を指定している場合、指定した請求人は各保険会社が定める範囲に収まっているか？（指定代理請求人未指定商品の場合もチェック）	<input type="checkbox"/>
	「当金庫取扱保険商品のご案内」にて取扱商品の情報提供を行ったか？	<input type="checkbox"/>
契約者と被保険者が異なる場合、両者と面談しそれぞれより面前にて目撃・捺印をいただいたか？（15歳以下の場合、親権者と面談したか？）	<input type="checkbox"/>	
引受保険会社の説明はしたか？	<input type="checkbox"/>	
小口規制先該当時、通算限度額照会を実施したか？（通算限度額照会不要先の場合もチェック）	<input type="checkbox"/>	

■ 預かり資産ナビ内の各種チェック項目を活用し、重要事項等の説明が漏れなく適切に行われているかを確認しています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います

主な取り組み：パンフレットやホームページについては、分かりやすい表現を徹底します。投資信託をご案内の際には、当金庫で取扱う主なファンドの特徴や手数料、運用状況等を一覧で確認できる資料等を用いてご説明します。また、保険商品をご案内の際には、保険種類ごとに一覧にした資料や商品概要が分かる資料等を用いてご説明します。

取組状況：(4)パンフレット・ホームページの整備状況

パンフレット／保険商品概要書

ホームページ

- 投資信託については、投資信託の基礎的知識について説明をしたパンフレットおよびホームページをご用意しています。
- 保険については、各保険商品の概要を分かりやすく説明する保険商品概要書をご用意しています。
- より分かりやすいパンフレット・ホームページとなるよう適時見直しをしています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います

取組状況：(5) 取扱商品一覧提示状況

### 「しんきん預かり資産ナビ」 (タブレット端末)

投資区分	ファンド名・銘柄	基準価額 (円) /基準日	前日比 (%)	純資産 (億円)	6か月 運用率 22年 4月末	過去 12か月 運用率 22年 4月末	リスクリレー ション
海外	DIAM高成長インカム・オープン 【毎月決算コース】 【銘柄：ハルビークロート】	7,063 5/25	-33	975.32	-0.38	10	11
海外	しんきんアジア新興市場ファンド 【毎月決算コース】 【銘柄：アジアの恵み】	9,193 5/25	+11	6.92	0.98	25	11
国内	しんきん公債債券ファンド 【銘柄：ハロー・イカカ】	5/25	+12	72.67	-0.98	10	11
海外	世界のサイフ	1,738 5/25	-18	134.28	+2.60	10	11
国内	ニッセイ日本インカムオープン 【銘柄：1101】	9,151 5/25	+8	429.51	-0.43	5	11
海外	ビム・世界債券市場ファンド 【年1回決算】 【銘柄：海外ヘッジなし】	12,619 5/25	-39	7.69	-1.25	0	11
海外	三井住友・ヨーロッパ債券ファンド	5,715 5/25	+9	47.19	-6.67	15	11

### 投資信託商品 覧 (ファンド & マーケット)

**主な取扱ファンド**

- しんきん高成長インカム・オープン
- しんきんアジア新興市場ファンド
- しんきん公債債券ファンド
- 世界のサイフ
- ニッセイ日本インカムオープン
- ビム・世界債券市場ファンド
- 三井住友・ヨーロッパ債券ファンド

**市場動向 (日本)**

4月の日本経済は大幅な成長を遂げ、市場は期待を膨らませています。しかし、インフレ率の上昇は、市場の期待を押し下げ、株価は下落傾向にあります。今後、インフレ率の低下と経済成長の持続が鍵となります。

### 保険商品一覧 (しんきん預かり資産ナビ上)

**がん保険**

がん保険は、がんを発見した場合に給付金が支払われます。しんきん預かり資産ナビでは、様々ながん保険の商品が紹介されています。

**個人年金保険**

個人年金保険は、老後の生活資金を確保するための保険です。しんきん預かり資産ナビでは、様々な個人年金保険の商品が紹介されています。

「しんきん預かり資産ナビ」(タブレット端末)を用い、取扱商品の特徴や手数料のほか、運用状況などタイムリーな情報を提供しています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

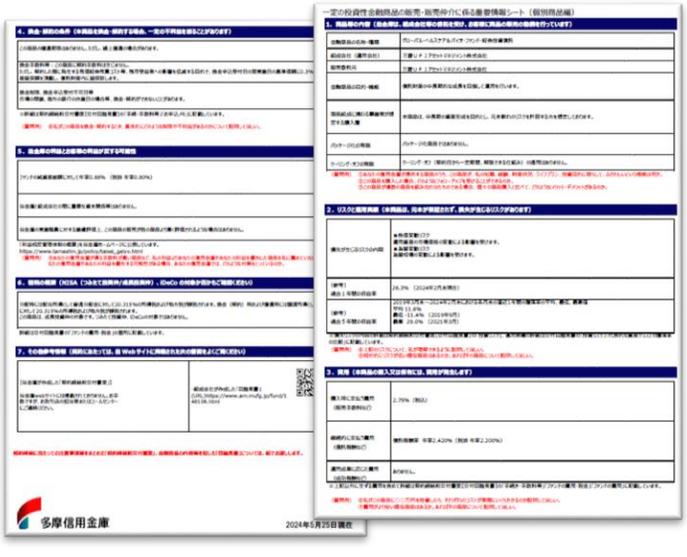
## 2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います

取組状況：(6) 重要情報シートの活用

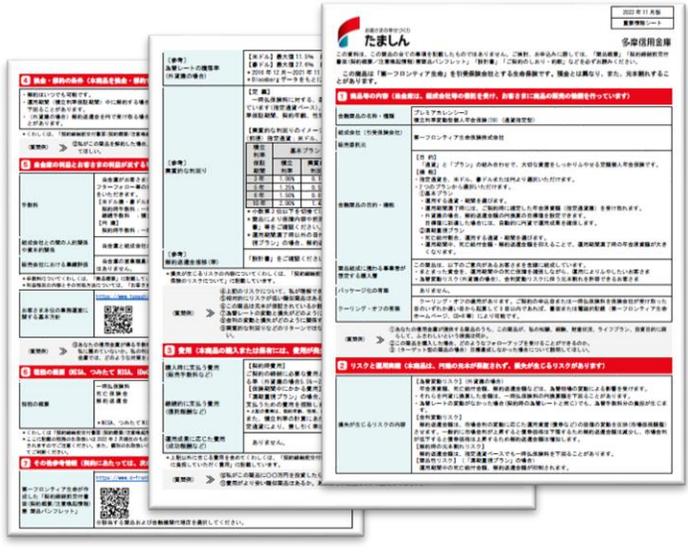
「重要情報シート」  
(金融事業者編)



重要情報シート  
(個別商品編「投資信託」)



重要情報シート  
(個別商品編「外貨建保険」)



- 金融商品・サービスに関する重要な情報をよりわかりやすくご案内するため、お客さま向けの説明資料として「重要情報シート」を2022年6月より導入しています。
- 当金庫ではしんきんファンドラップや一部の投資信託など複数のファンドや商品を1つの商品としてパッケージ化しているものを取り扱っていますが、これらのパッケージを構成する商品を個別に購入いただくことはできません。
- 当金庫は、金融商品の組成に携わる金融事業者には該当いたしません。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 2. 重要な情報や手数料に関する分かりやすい説明を行います

主な取り組み： お客さまに理解を深めていただくために必要な方法・程度によって説明し、適切な投資判断のための十分な情報を提供します。お客さまの状況等に照らし、より重要な情報については書面に加えて口頭でも説明を行います。

取組状況： (7) 「しんきん預かり資産ナビ」によるチェック状況

顧客状況					
*健康状態	<input type="radio"/> 良好 <input type="radio"/> 難あり		*会話	<input type="radio"/> かみ合う <input type="radio"/> かみ合わない	
*理解力	<input type="radio"/> 問題なし <input type="radio"/> 問題あり		*商品選択	<input type="radio"/> 問題なし <input type="radio"/> 問題あり	

取扱可能商品						
選択	カテゴリ	取扱可否	科目	商品分類	商品	(★は意向該当 (概要/説明資料明示済み))
<input type="checkbox"/>	プレミアシップ (外貨建)	顧客状況入力要	保険	一時払保険	プレミアシップ (外貨建)	★
<input type="checkbox"/>	しんきんらいふ終身N (ロングドリームGOLD3)	顧客状況入力要	保険	一時払保険	しんきんらいふ終身N (ロングドリームGOLD3)	★
<input type="checkbox"/>	無配当終身保険/5年ごと利差配当付終身保険【すまいる限定】	顧客状況入力要	保険	一時払保険	無配当終身/利差配ひまわり (前納)【すまいる限定】	
<input type="checkbox"/>	終身保険【すまいる限定】	顧客状況入力要	保険	一時払保険	終身保険前納 (あんしん)【すまいる限定】	
<input type="checkbox"/>	プレミアプレゼント2 (外貨建)	顧客状況入力要	保険	一時払保険	プレミアプレゼント2 (外貨建)	★
<input type="checkbox"/>	プレミアストーリー4 (外貨建)	顧客状況入力要	保険	一時払保険	プレミアストーリー4 (外貨建)	★

コメント					

- 「しんきん預かり資産ナビ」を用いて、お客さまの状況・理解度を確認し、重要事項について漏れなく分かりやすいご説明を行い、コンプライアンスチェックについては、より一層の強化を図っています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

**方針** : 当金庫は、「金融商品の勧誘方針」を定め、お客さまの知識、経験、財産の状況および契約を締結する目的に照らし、お客さまのご意向を伺ったうえで、適切な商品・サービスのご案内を行います。

**主な取り組み** : 金融商品のご案内時には、販売手数料の多寡に関わらず、お客さまのニーズに合った適切な商品のご案内を行います。

**取組状況** : (1) 投資信託の取扱状況【販売上位5銘柄】 (2023年度)

順位	銘柄名	購入時手数料率	主たる投資対象	契約金額(百万円)	構成比
1	しんきんインデックスファンド225	0.00%	国内株式	17,653	62.4%
2	しんきん全世界インデックスファンド	2.20%	海外株式	1,314	4.6%
3	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.75%	海外株式	1,118	3.9%
4	しんきん日経平均オープン	1.10%	国内株式	1,112	3.9%
5	しんきんS & P 500インデックスファンド	2.20%	海外株式	937	3.3%
	その他ファンド	—	—	6,175	21.8%
<b>合計 (全銘柄)</b>		—	—	<b>28,312</b>	<b>100.0%</b>

- 前年度同様、相場環境や購入時手数料を要因として、契約額全体の6割以上を「しんきんインデックスファンド225」が占めています。
- 手数料の多寡に関わらず、お客さまのご意向やリスク許容度に合わせた商品のご案内を行っています。

※単位未満切り捨て表示のため、合計等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

取組状況： (2) 保険商品の契約状況 (2023年度)

商品カテゴリー		契約金額		構成比
運用性(貯蓄性)商品	個人年金保険	6,796	百万円	38.9%
	円建 外貨建	5,920	百万円	33.8%
		876	百万円	5.0%
	一時払終身保険	10,696	百万円	61.1%
		円建 外貨建	8,189	百万円
		2,506	百万円	14.3%
学資保険		0	百万円	0.0%
<b>合計</b>		<b>17,492</b>	<b>百万円</b>	<b>100.0%</b>
商品カテゴリー		件数		構成比
保障性商品	医療保険	572	件	31.8%
	がん保険	856	件	47.5%
	平準払終身保険	102	件	5.7%
	その他	271	件	15.0%
<b>合計</b>		<b>1,801</b>	<b>件</b>	<b>100.0%</b>

※単位未満切り捨て表示のため、合計等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

- 運用性商品においては、安全性を重視した円建商品を選択されるお客さまが高い割合を占めていますが、金利上昇に伴い外貨建商品を選択されるお客さまもいらっしゃいます。また、資産をまもりながらふるえる期待も持てる個人年金保険も昨年度比増加しました。
- お客さまのご意向に沿った商品のご案内を行ってまいります。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

主な取り組み： 多様なお客さまのニーズにお応えするため、商品ラインナップの見直しを継続的に実施します。

取組状況： (3) 投資信託ラインナップ (2024年3月末)

商品カテゴリ	取扱商品数	構成比
国内	11	22.4%
株式	7	14.3%
債券	2	4.1%
REIT	2	4.1%
海外	29	59.2%
株式	17	34.7%
債券	6	12.2%
REIT	5	10.2%
その他資産	1	2.0%
バランス型	9	18.4%
合計	49	100.0%
うち購入時手数料なし	10	20.4%

◆ (2023年度) 新規取扱商品 ◆



商品カテゴリ	商品名	運用会社	取扱開始日
海外債券	しんきんG7外国債券インデックスファンド (3カ月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	2024年1月10日
国内不動産	しんきんJリートオープン (隔月決算型) 【愛称：六つの果実】	しんきんアセットマネジメント投信	
海外株式	たわらノーロード 全世界株式	アセットマネジメント One	
海外株式	インデックスファンドNASDAQ100 (アメリカ株式)	日興アセットマネジメント	2024年3月1日
海外不動産	ダイワ・グローバルREIT・オープン (為替ヘッジなし/奇数月決算型) 【愛称：世界の街並み】	大和アセットマネジメント	

※新規販売を停止しているファンドを除く

■ 定期的に商品ラインナップの見直しを行っています。2023年度は、新NISA制度の内容・開始に合わせて商品拡充を行いました。商品性や値動きがわかりやすいものを中心にアセットクラスのバランスを鑑み、計5商品の取扱いを開始しました。2023年度末時点での取扱商品は、49商品となっております。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

主な取り組み： 多様なお客さまのニーズにお応えするため、商品ラインナップの見直しを継続的に実施します。

取組状況： (4) 保険商品ラインナップ (2024年3月末)

商品カテゴリー		取扱商品数	構成比
運用性 (貯蓄性) 商品	個人年金保険	5	13.5%
	円建	3	8.1%
	外貨建	2	5.4%
	一時払終身保険	10	27.0%
	円建	6	16.2%
	外貨建	4	10.8%
保障 商品	平準払終身保険	4	10.8%
	医療保険	5	13.5%
	がん保険	2	5.4%
	介護保険	2	5.4%
	認知症保険	1	2.7%
	定期保険	5	13.5%
	学資保険	2	5.4%
	ペット保険	1	2.7%
合計		37	100.0%

◆ ( 2 )  
新 規 取 扱 商 品 度 )  
◆



商品カテゴリー	商品名	引受保険会社	取扱開始日
一時払 個人年金保険	プレミアジャーニー	第一フロンティア生命保険(株)	2023年11月1日

※新規販売を停止している商品を除く  
※個人年金保険および一時払終身保険は、1つの商品で円建・外貨建の取扱いがある場合、それぞれに計上しています。

- 「人生100年時代」を迎える中、退職後の長いセカンドライフに備えた資産運用の必要性が益々高まっています。多様化しているお客さまの悩みや不安にお応えするため、一時払個人年金保険「プレミアジャーニー」の取扱いを開始しました。
- 今後も商品ラインナップを充実させ、お客さまの多様なニーズにお応えしていきます。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

主な取り組み： 金融商品のご案内にあたっては、お客さまのニーズに該当する全ての商品のご案内を行います。投資信託に関しては、お客さまのご意向に沿って、長期積立分散投資の観点から、積立投資信託や新NISA つみたて投資枠等をご案内します。

取組状況： (5) 投資信託ご意向確認状況

「しんきん預かり資産ナビ」(タブレット端末)



投資信託商品一覧



- 「しんきん預かり資産ナビ」を活用し、お客さまのご希望に応じてモデルキャッシュフロー表をご提示するなどし、お客さまのご意向をお伺いし、その都度記録しています。
- アンケートの結果、当金庫で取扱っているお客さまのご意向に沿った全ての投資信託商品について、しんきん預かり資産ナビやファンド&マーケットを用いてご案内しています。

## 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## ■ 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

取組状況： (6) 投資信託・公共債・運用性（貯蓄性）保険商品の保有残高

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
① 投資信託	25,777百万円	25,278百万円	<b>27,137百万円</b>
② 公共債	54,880百万円	57,620百万円	<b>56,985百万円</b>
③ 運用性（貯蓄性）保険商品	98,680百万円	106,500百万円	<b>117,773百万円</b>

※③運用性（貯蓄性）保険商品については、終身保険および年金保険の一時払および全期前納払の合計残高で算出しています。

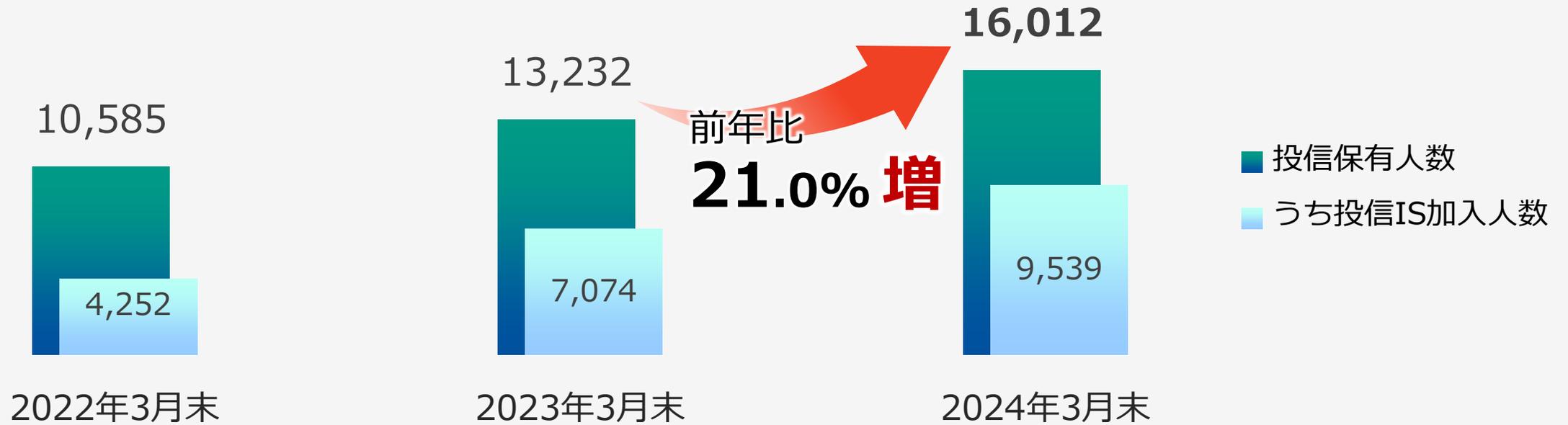
- 運用性（貯蓄性）保険については、お客さまの資産を「のこしたい」「増やしたい」ご意向が多くなっていることから、増加傾向で推移しています。

## 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## ■ 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

取組状況： (7) 投資信託保有お客さま数

投資信託保有人数3カ年推移 (人)



- お客さまにふさわしい商品・サービスをご案内した結果として、投資信託を保有するお客さまの数は増加しています。
- 年々投信インターネットサービスの利用が増えています。最新年度末においての投信ISの加入率は59.6%で、投資信託を保有するお客さまのうち半数以上のお客さまにご利用いただいています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

取組状況： (8) 投資信託における長期投資の状況

	2021年度	2022年度	2023年度
平均保有年数	1.2年	1.1年	<b>0.8年</b>
「しんきんインデックスファンド225」を除いた平均保有年数	2.9年	3.7年	<b>2.4年</b>

取組状況： (9) 投資信託契約に占める毎月分配型商品販売額の割合

	2021年度	2022年度	2023年度
投資信託契約額	24,908 百万円	23,445 百万円	<b>28,312 百万円</b>
うち毎月分配型商品	3,362 百万円	1,603 百万円	<b>922 百万円</b>
構成比	13.5 %	6.8 %	<b>3.3 %</b>

- 契約額は横ばいですが、相場変動に応じた換金希望も増加しており、平均保有年数は短くなっています。「しんきんインデックスファンド225」が換金額全体の6割以上を占めています。
- 引き続き、お客さまのご意向を確認したうえで、長期資産形成・資産運用、分散投資のご案内を行ってまいります。
- 2024年より新NISAの対象商品から外れた毎月分配型商品の販売額割合は、減少傾向にあります。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

取組状況：(10) 新NISAつみたて投資枠およびつみたてNISAの取扱状況

参考 ≫

新NISA口座数  
14,659口座

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
保管残高	773 百万円	1,410 百万円	<b>2,999 百万円</b>

※2022年3月末・2023年3月末：つみたてNISAにて購入可能5商品の保管残高

※2024年3月末：つみたてNISA、新NISAつみたて投資枠にて購入可能商品の保管残高（2023年12月末まで5商品、2024年1月より6商品）

取組状況：(11) 投資信託に占める定時定額購入取引（積立投資信託）の割合

	2021年度	2022年度	2023年度
投資信託契約額	24,908 百万円	23,445 百万円	<b>28,312 百万円</b>
うち積立投資信託	1,144 百万円	1,601 百万円	<b>2,274 百万円</b>
構成比	4.6 %	6.8 %	<b>8.0 %</b>

- 新NISA制度が始まり、ニーズの高まりやつみたて投資枠の活用により保管残高は増加しています。
- 新NISA制度の開始に伴い、口座数が増加し、積立投資信託の構成比は増加しました。今後も新NISAのご案内を含め、安定的な資産形成・長期運用に適している定時定額購入取引のご案内を行ってまいります。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

取組状況：(12) しんきんファンドラップの契約状況 (2023年度)

「しんきんファンドラップ」端末画面 (タブレット端末)

2023年度契約件数	107件
2024年3月末保有先数	157件
2024年3月末残高	200百万円

- お客さまのご意向をヒアリングしたうえで、適切なポートフォリオをご案内し、タブレットにて電子契約を行っています。
- 2022年の取扱い開始以来、取扱契約件数・残高共に増加しています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

主な取り組み： 安心して金融商品をお持ちいただけるよう、お客さまがお持ちの投資信託に関する情報提供および今後の運用方針の確認（アフターフォロー）を定期的に行います。

取組状況： (13) 投資信託アフターフォロー実施状況（2023年度）

	2023年5月	2023年8月	2023年11月	2024年2月
対象者数	12,757名	12,978名	14,266名	<b>14,527名</b>
実施件数	12,757件	12,978件	14,266件	<b>14,527件</b>
実施率	100%	100%	100%	<b>100%</b>

- 投資信託を保有するお客さまに対して、保有資産の評価（損益）の騰落だけではなく、お客さまのライフプランに基づく中長期的な運用方針を確認したうえで、長期・分散投資のご案内を中心にアフターフォローを3ヶ月毎に実施しています。
- アフターフォローを通じて、お客さまの資産運用・資産形成に関する課題解決を行っています。

## 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

### 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

主な取り組み： 安心して金融商品をお持ちいただけるよう、お客さまがお持ちの外貨建保険の資産状況および情報提供（アフターフォロー）を定期的に行います。

取組状況： (14) 外貨建保険アフターフォロー実施状況（2023年度）

	2022年度		2023年度	
対象者数	633	名	1,284	名
実施件数	589	件	1,237	件
実施率	93.0	%	96.3	%

- 2022年度より、外貨建保険をお持ちのお客さまにアフターフォローを実施しています。
- アフターフォローを通じて、契約内容や為替状況等を再確認いただくと共に、お客さまの近況から現在の課題を把握したうえで、ご意向に沿った情報提供を行っています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

主な取り組み： ご案内・勧誘を行うことが利用者保護の観点から問題がないと判断されるお客さまに、ニーズに合致した商品をご案内します。

取組状況： (15) 「金融商品販売マニュアル」における高齢者取引ルールの設定状況

分類	75歳以上	80歳以上
「勧誘可能商品」	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族の同席</li> <li>複数回の説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記に加え 取引確認書の徴求</li> </ul>
「勧誘留意商品」	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記に加え 担当者以外の役席による事前適合性確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記に加え 取引確認書の徴求 担当者以外の役席による契約受付</li> </ul>

- 当金庫では「金融商品販売マニュアル」を策定し、当金庫で扱う金融商品を「勧誘可能商品」と「勧誘留意商品」に分類し、「勧誘留意商品」については、原則として、75歳以上のお客さまにはご家族同席のうえ複数回の説明を行ったうえで、担当者以外の役席による事前適合性確認を行っています。  
また、80歳以上のお客さまには、取引確認書をいただく等により慎重な対応を行っています。

## 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## ■ 3. お客さまのご意向を伺ったうえで適切な商品・サービスのご案内を行います

主な取り組み： お客さま向けセミナー、相談会を随時開催し、金融商品の基礎知識や市場動向等、適切な情報提供を行います。

取組状況： (16) すまいるプラザにおけるお客さま向けセミナーの実施回数・参加人数

	2021年度	2022年度	2023年度
① 実施回数	241 回	182 回	<b>242 回</b>
② 参加人数	1,508 名	1,701 名	<b>1,600 名</b>

- 2023年度はオンライン配信を充実させ、来場型セミナーと併せて実施したことで、実施回数については前年度比増加しました。
- セミナー後のアンケートやお客さまの声をもとに、セミナーを通じて適切な情報提供を行います。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## ■ 4. お客さまへの質の高い課題解決を実践する職員育成を行います

方針：当金庫は、より高いコンサルティング能力を発揮し、質の高い金融サービスを提供するよう、職員研修の充実に努めます。

また、お客さまのご意向を伺ったうえで、適切なお案内や情報提供が徹底され、販売収益に関わらず、課題解決の取り組みが適切に評価されるよう、業績評価体系を整備します。

主な取り組み：職員の担当業務や階層に応じた研修を継続的に実施します。その内容は、コンプライアンス、知識、および実務（分かりやすい説明等）を含めた以下の構成とします。

- ①コンプライアンス ②商品や投資環境に関する知識習得 ③コンサルティング能力の向上

取組状況：（1）「個人のお客さまの課題解決」に関連する研修の実施回数・参加者数・資格取得者数

	2021年度	2022年度	2023年度
① 研修実施数	75 回	103 回	<b>75 回</b>
② 研修参加者数	2,739 名	6,423 名	<b>6,418 名</b>
③ 資格取得者数	2,427 名	2,497 名	<b>2,438 名</b>
うち新規取得者数	239 名	172 名	<b>110 名</b>

- テレビ会議システムや動画を活用した研修により、職員の能力向上を図っています。
- FPなどの専門資格取得を奨励しています。
- よりお客さまのお役に立てるよう専門性を高めてまいります。

## 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

### ■ 4. お客さまへの質の高い課題解決を実践する職員育成を行います

主な取り組み： お客さまへの課題解決の取り組みが適切に評価されるよう業績評価体系を定期的に見直します。

取組状況： (2) 業績評価体系の定期的な見直し状況

- ・業績評価体系・人事評価体系については、業績目標評価のほかコンプライアンス評価も行い、定期的な見直しを行っています。
- ・当金庫は、特定の商品の販売についてインセンティブを与える業績評価は行っておりません。お客さまのご意向に沿った商品のご案内を徹底しています。

主な取り組み： 「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」について、その内容や趣旨、方針を踏まえた具体的な取り組みを、役職員に周知徹底します。

取組状況： (3) 「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の周知徹底状況

- ・役職員に周知・徹底するとともに、コンプライアンス研修にも組み込み、浸透を図っています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## ■【利益相反の適切な管理】

当金庫は、金融商品取引法・信用金庫法等および当金庫が定めた顧客保護等管理方針に基づき、お客さまと当金庫との取引にあたり、利益が相反することにより、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理し、お客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼向上のための取り組みを徹底します。

※「利益相反管理体制の概要」を当金庫ホームページに公表しています。

▶ [https://www.tamashin.jp/policy/taisei\\_gaiyo.html](https://www.tamashin.jp/policy/taisei_gaiyo.html)



金融商品のご案内時には、販売手数料の多寡に関わらず、お客さまのニーズに合った適切な商品のご案内を行います。当金庫はグループ会社から金融商品の提供を受けることはありません。

また、当金庫の運用部門と法人営業部門との間の情報等は遮断しており、運用部門は当金庫の投資先企業に対する投資判断や売買等の決定に関わりません。

- 各種規程類を制定し、当金庫の投資先企業の情報等に基づく有価証券等の売買を禁止しています。また、これらの内容を役職員に周知徹底し、適切な管理を行っています。

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係のご案内

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」		該当ページ
<b>原則2 顧客の最善の利益の追求</b>		
金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。		P3～4 P26～27
(注)	金融事業者は、顧客との取引に際し、顧客本位の良質なサービスを提供し、顧客の最善の利益を図ることにより、自らの安定した顧客基盤と収益の確保につなげていくことを目指すべきである。	P2～4 P17～18 P26～27
<b>原則3 利益相反の適切な管理</b>		
金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。		P28
(注)	金融事業者は、利益相反の可能性を判断するに当たって、例えば、以下の事情が取引又は業務に及ぼす影響についても考慮すべきである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売会社が、金融商品の顧客への販売・推奨等に伴って、当該商品の提供会社から、委託手数料等の支払を受ける場合</li> <li>・ 販売会社が、同一グループに属する別の会社から提供を受けた商品を販売・推奨等する場合</li> <li>・ 同一主体又はグループ内に法人営業部門と運用部門を有しており、当該運用部門が、資産の運用先に法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶ場合</li> </ul>	P28
<b>原則4 手数料等の明確化</b>		
金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。		P5～6 P10

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係のご案内

原則5 重要な情報の分かりやすい提供		
	金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。	P5～7 P10
(注1)	<p>重要な情報には以下の内容が含まれるべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件</li> <li>顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品の組成に携わる金融事業者が販売対象として想定する顧客属性</li> <li>顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの選定理由（顧客のニーズ及び意向を踏まえたものであると判断する理由を含む）</li> <li>顧客に販売・推奨等を行う金融商品・サービスについて、顧客との利益相反の可能性がある場合には、その具体的内容（第三者から受け取る手数料等を含む）及びこれが取引又は業務に及ぼす影響</li> </ul>	P5～7 P10
(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入することが可能であるか否かを顧客に示すとともに、パッケージ化する場合としない場合を顧客が比較することが可能となるよう、それぞれの重要な情報について提供すべきである（（注2）～（注5）は手数料等の情報を提供する場合においても同じ）。	P10
(注3)	金融事業者は、顧客の取引経験や金融知識を考慮の上、明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行うべきである。	P8～10
(注4)	金融事業者は、顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供を、分かりやすく行うべきである。単純でリスクの低い商品の販売・推奨等を行う場合には簡潔な情報提供とする一方、複雑又はリスクの高い商品の販売・推奨等を行う場合には、顧客において同種の商品の内容と比較することが容易となるように配慮した資料を用いつつ、リスクとリターンの関係など基本的な構造を含め、より分かりやすく丁寧な情報提供がなされるよう工夫すべきである。	P8～11
(注5)	金融事業者は、顧客に対して情報を提供する際には、情報を重要性に応じて区別し、より重要な情報については特に強調するなどして顧客の注意を促すべきである。	P10～11

# 多摩信用金庫『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』の取組状況

## 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係のご案内

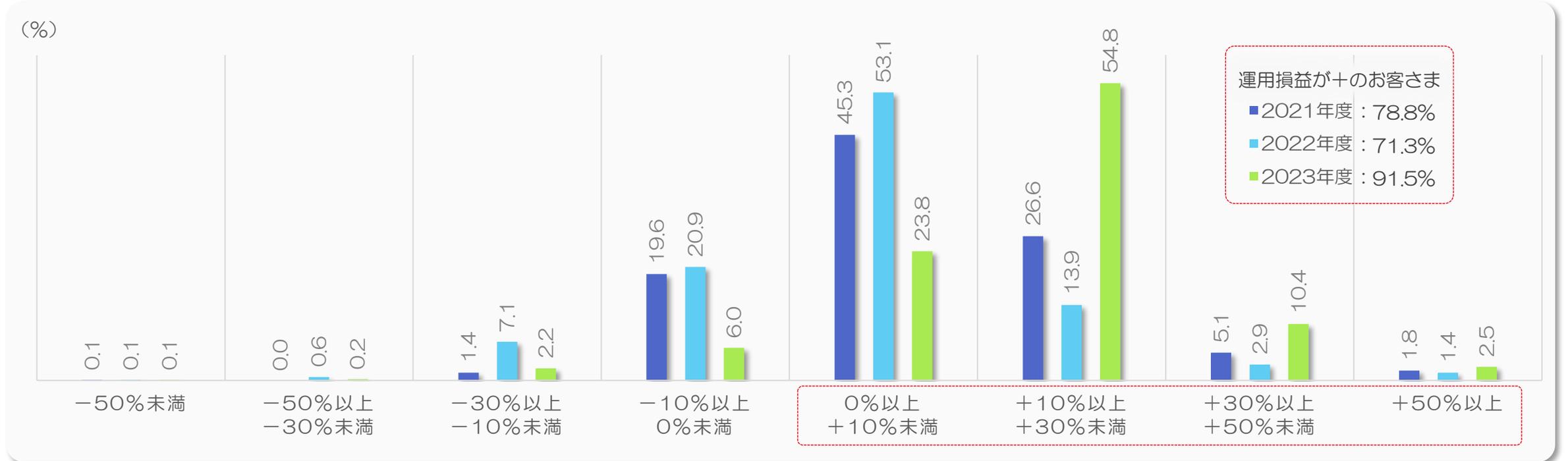
原則6 顧客にふさわしいサービスの提供		
	金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。	P12～15
(注1)	金融事業者は、金融商品・サービスの販売・推奨等に関し、以下の点に留意すべきである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の意向を確認した上で、まず、顧客のライフプラン等を踏まえた目標資産額や安全資産と投資性資産の適切な割合を検討し、それに基づき、具体的な金融商品・サービスの提案を行うこと</li> <li>具体的な金融商品・サービスの提案は、自らが取り扱う金融商品・サービスについて、各業法の枠を超えて横断的に、類似商品・サービスや代替商品・サービスの内容（手数料を含む）と比較しながら行うこと</li> <li>金融商品・サービスの販売後において、顧客の意向に基づき、長期的な視点にも配慮した適切なフォローアップを行うこと</li> </ul>	P19～20 P22～23
(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、当該パッケージ全体が当該顧客にふさわしいかについて留意すべきである。	P10
(注3)	金融商品の組成に携わる金融事業者は、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえて、販売対象として想定する顧客属性を特定・公表するとともに、商品の販売に携わる金融事業者においてそれに沿った販売がなされるよう留意すべきである。	P10
(注4)	金融事業者は、特に、複雑又はリスクの高い金融商品の販売・推奨等を行う場合や、金融取引被害を受けやすい属性の顧客グループに対して商品の販売・推奨等を行う場合には、商品や顧客の属性に応じ、当該商品の販売・推奨等が適当かより慎重に審査すべきである。	P24
(注5)	金融事業者は、従業員がその取り扱う金融商品の仕組み等に係る理解を深めるよう努めるとともに、顧客に対して、その属性に応じ、金融取引に関する基本的な知識を得られるための情報提供を積極的に行うべきである。	P25～26
原則7 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等		
	金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。	P26～27
(注)	金融事業者は、各原則（これらに付されている注を含む）に関して実施する内容及び実施しない代わりに講じる代替策の内容について、これらに携わる従業員に周知するとともに、当該従業員の業務を支援・検証するための体制を整備すべきである。	P27

## 各金融機関と比較可能な共通成果指標（共通KPI）について

---

## 【共通KPI①】 投資信託の運用損益別顧客比率

- 当金庫で投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。
- 2024年3月末時点で運用損益率がプラス（0%以上）のお客さまは91.5%でした。



対象のお客さま： 基準日（2021年度：2022年3月末時点／2022年度：2023年3月末時点／2023年度：2024年3月末時点）に投資信託を保有している個人のお客さま

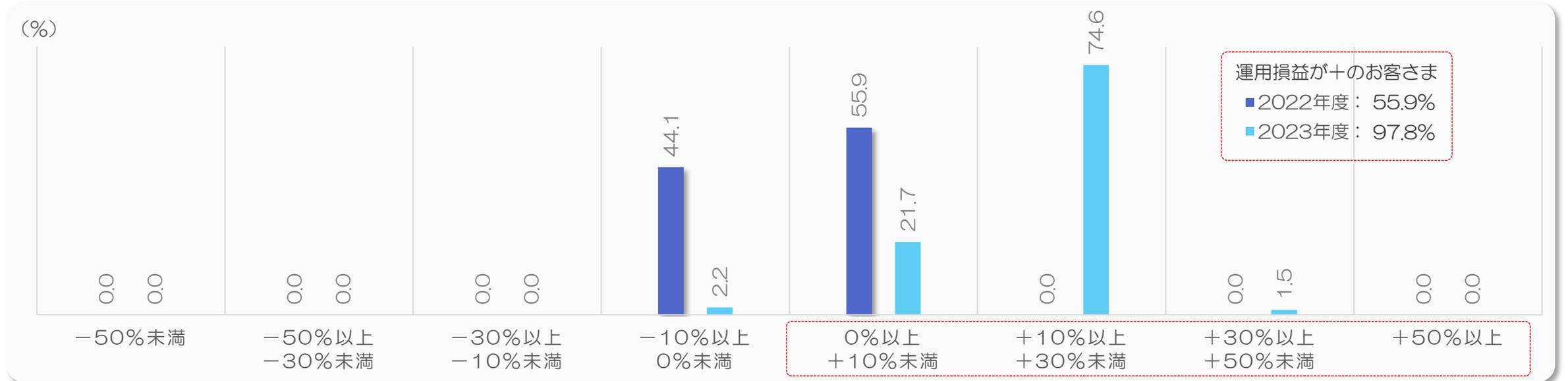
対象取引： 当金庫の投資信託口座による取引

運用損益： 基準日時点の評価金額 + 累計受取分配金（税引後） + 累計売り付け金額 - 累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）

運用損益率： 上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

## 【共通KPI②】ファンドラップの運用損益別顧客比率

- 当金庫でファンドラップを保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。
- 2024年3月末時点で運用損益率がプラス（0%以上）のお客さまは97.8%でした。



※当金庫は、大和証券(株)を委託元とする「しんきんファンドラップ」を2022年5月より媒介しています。

対象のお客さま： 基準日（2022年度：2023年3月末時点／2023年度：2024年3月末時点）にファンドラップ投資一任専用口座を保有している個人のお客さま

対象取引： 当金庫が媒介するファンドラップ投資一任専用口座による取引

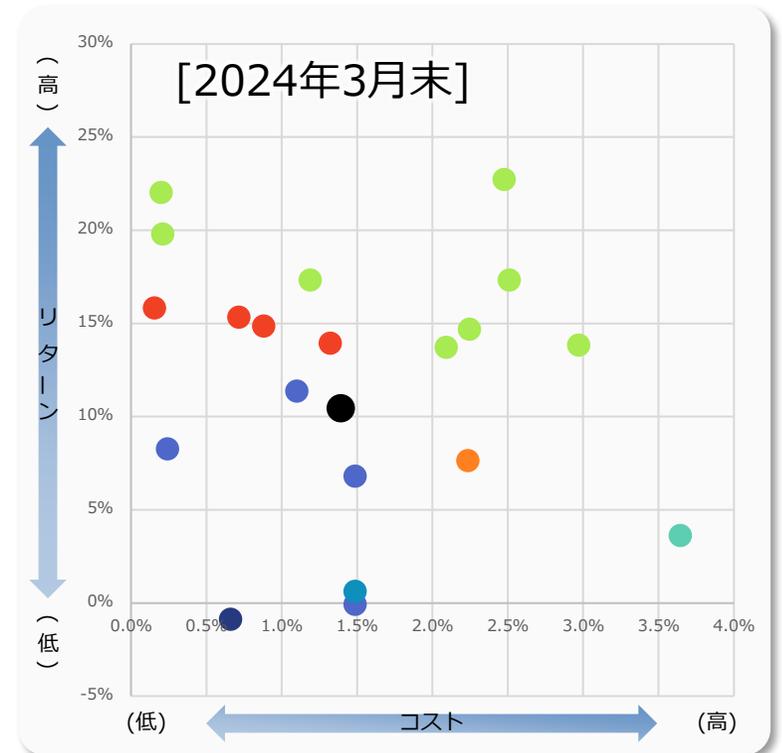
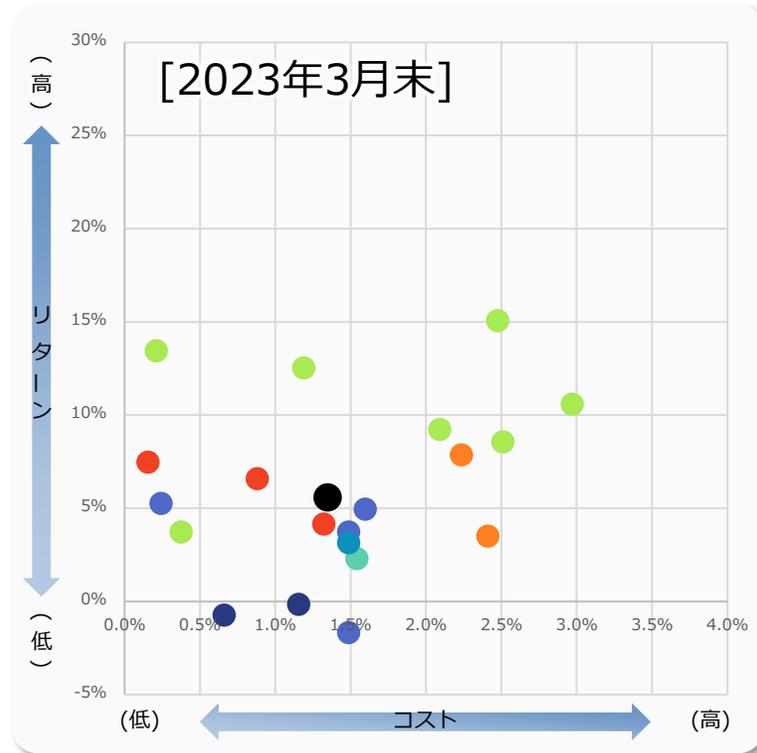
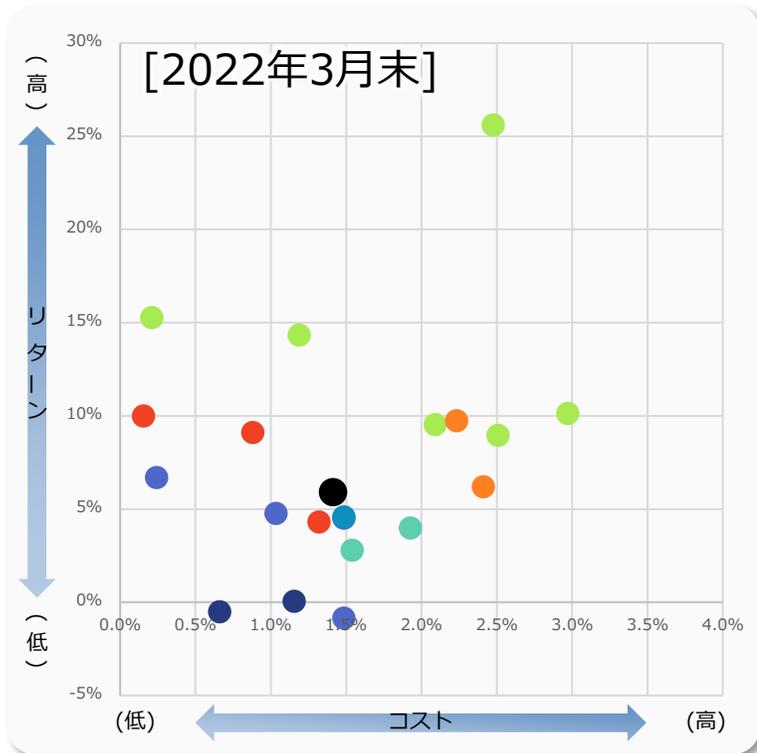
運用損益： 基準日時点の評価金額 + 累計払戻金額 - 累計払込金額

運用損益率： 上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

# 【共通KPI③】 投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

- 当金庫の投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リターンを表示しています。
- 2024年3月末現在の残高上位20銘柄の平均コストは**1.39%**、平均リターンは**10.45%**でした。

凡例：● バランス ● 海外株式 ● 海外債券 ● 海外不動産 ● 国内株式 ● 国内債券 ● 国内不動産 ● 残高加重平均値



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.41%	5.90%

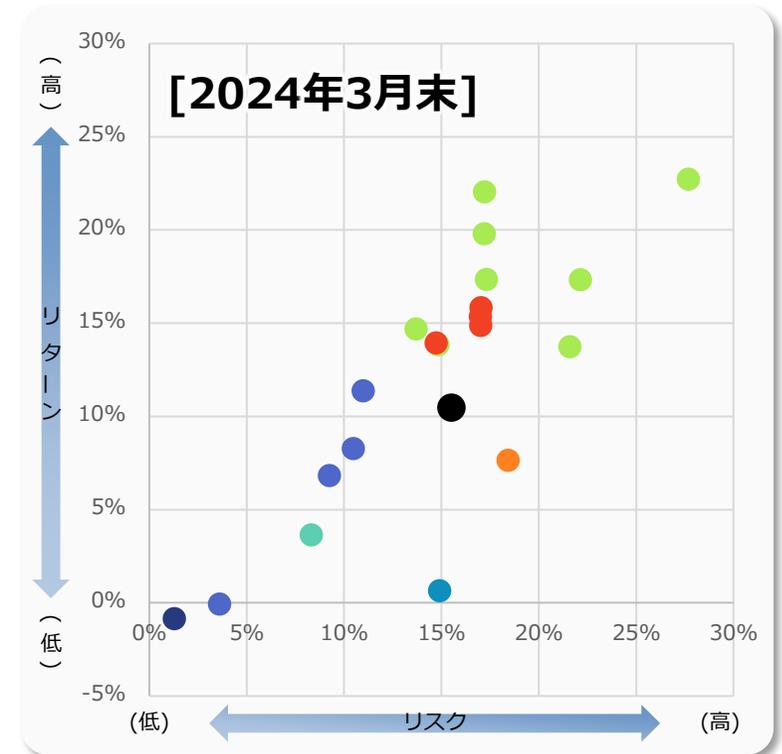
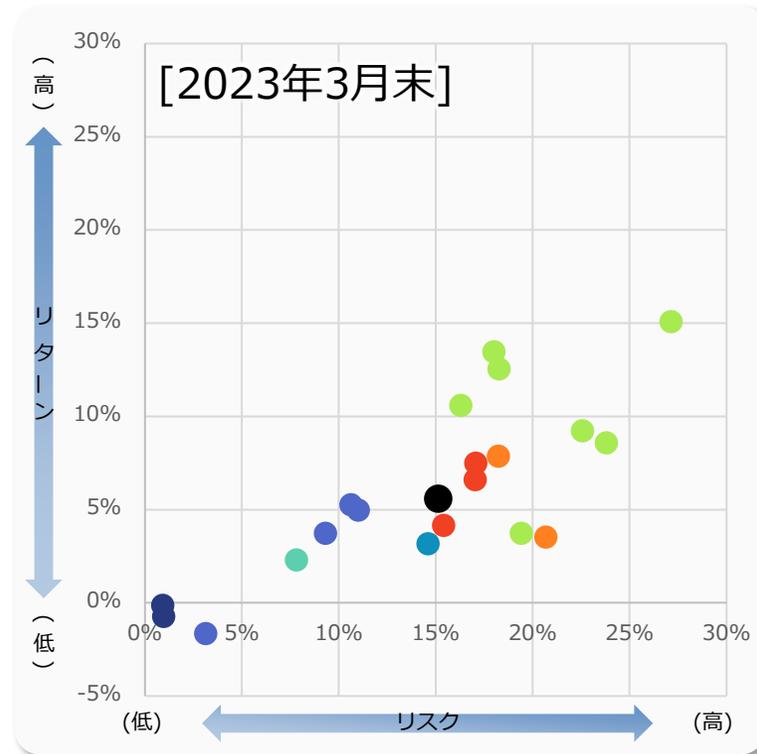
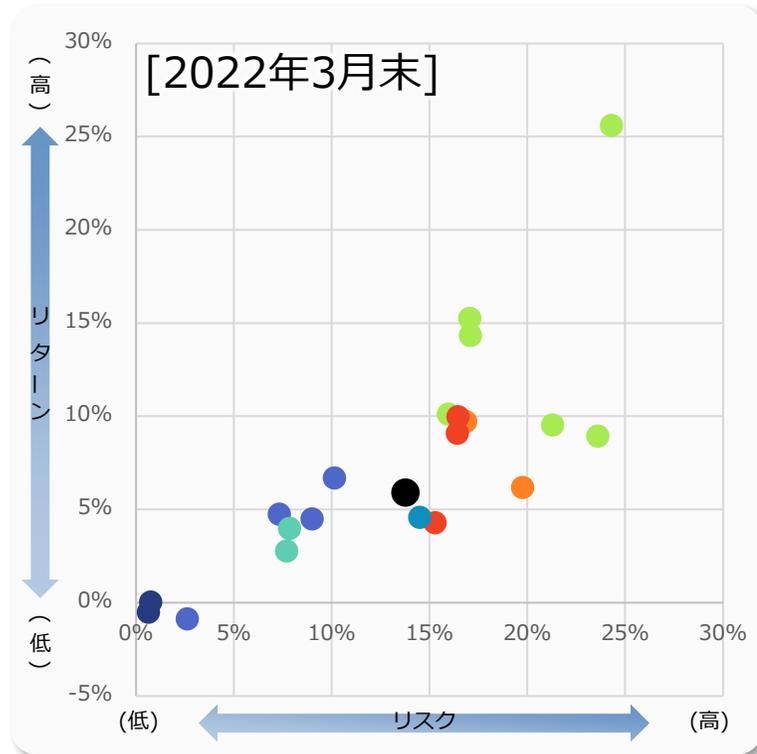
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.35%	5.57%

残高加重平均値	コスト	リターン
	1.39%	10.45%

# 【共通KPI④】 投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

- 当金庫の投資信託の残高上位20銘柄のリスク・リターンを表示しています。
- 2024年3月末現在の残高上位20銘柄の平均リスクは**15.52%**、平均リターンは**10.45%**でした。

凡例：● バランス ● 海外株式 ● 海外債券 ● 海外不動産 ● 国内株式 ● 国内債券 ● 国内不動産 ● 残高加重平均値



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.77%	5.90%

残高加重平均値	リスク	リターン
	15.14%	5.57%

残高加重平均値	リスク	リターン
	15.52%	10.45%

## 共通KPI ③・④ の投資信託預かり残高上位20銘柄

当金庫の投資信託の預かり残高上位20銘柄は以下の通りです。（本データは2024年3月末時点となります）

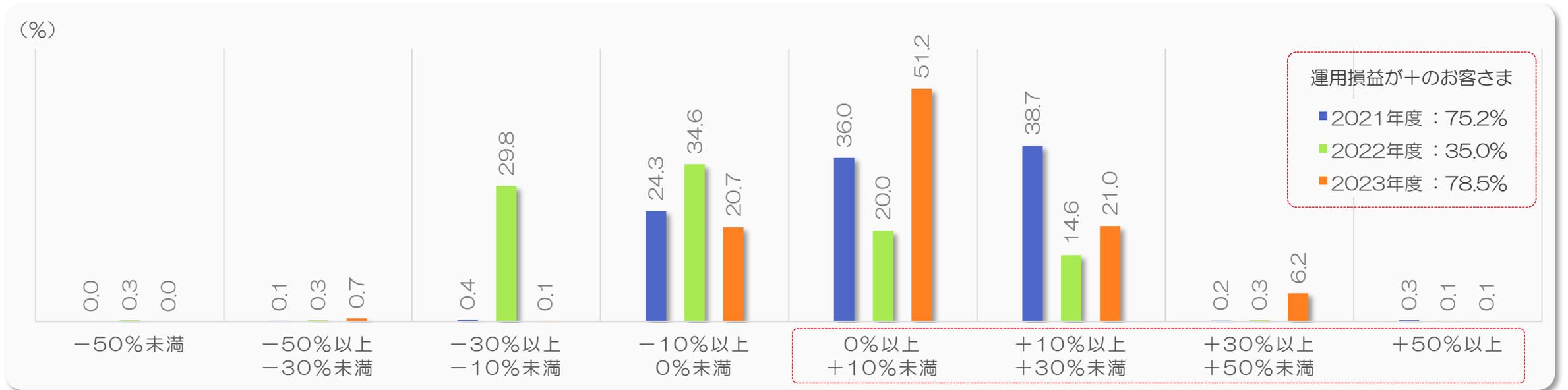
順位	銘柄名	会社	グループ	コスト	リスク	リターン
1位	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信	国内不動産	1.49%	14.90%	0.65%
2位	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信	国内株式	0.88%	17.00%	14.87%
3位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	海外株式	2.97%	14.82%	13.85%
4位	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信	バランス	1.49%	9.24%	6.82%
5位	ダイワ・インド株ファンド	大和アセットマネジメント	海外株式	2.51%	22.13%	17.34%
6位	iFree 日経225インデックス	大和アセットマネジメント	国内株式	0.15%	17.03%	15.84%
7位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	三井住友DSアセットマネジメント	海外株式	1.19%	17.31%	17.35%
8位	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント	海外株式	2.48%	27.67%	22.74%
9位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信	海外株式	2.09%	21.59%	13.74%
10位	iFree 外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	大和アセットマネジメント	海外株式	0.21%	17.19%	19.81%
11位	しんきん日経平均オープン	しんきんアセットマネジメント投信	国内株式	0.72%	16.99%	15.36%
12位	新光 US-REIT オープン	アセットマネジメントOne	海外不動産	2.23%	18.42%	7.66%
13位	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	海外株式	0.20%	17.20%	22.05%
14位	しんきん公共債ファンド	しんきんアセットマネジメント投信	国内債券	0.66%	1.28%	-0.85%
15位	グローバルSDGs株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	海外株式	2.24%	13.69%	14.70%
16位	iFree 8資産バランス	大和アセットマネジメント	バランス	0.24%	10.47%	8.28%
17位	DIAM高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	アセットマネジメントOne	海外債券	1.54%	8.31%	3.64%
18位	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信	国内株式	1.32%	14.72%	13.95%
19位	しんきん世界アロケーションファンド	しんきんアセットマネジメント投信	バランス	1.49%	3.60%	-0.06%
20位	三菱UFJ ライフセレクトファンド（成長型）	三菱UFJアセットマネジメント	バランス	1.10%	10.98%	11.38%

## 共通KPI ③・④ の成果指標算出基準

- 基準日** : 2022年3月末・2023年3月末・2024年3月末
- 対象ファンド** : 投資信託の預かり残高上位20銘柄（設定後5年以上）
- コスト** : (販売時手数料÷5) + 信託報酬（年率）
- リターン** : 過去5年間のトータルリターン（年率換算）  
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用
- リスク** : 過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）  
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

## 【共通KPI⑤】 外貨建保険商品の運用評価別顧客比率

- 基準日に当金庫で外貨建保険商品を保有しているお客さまについて、購入時以降のリターンを算出し、全てのお客さまを100%とした場合のリターン別のお客さま分布を表示しています。
- 2024年3月末時点でリターンがプラス（0%以上）のお客さまは**78.5%**でした。



対象のお客さま： 基準日（2021年度：2022年3月末時点／2022年度：2023年3月末時点／2023年度：2024年3月末時点）時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま

対象契約： 当金庫が保険募集を行った契約

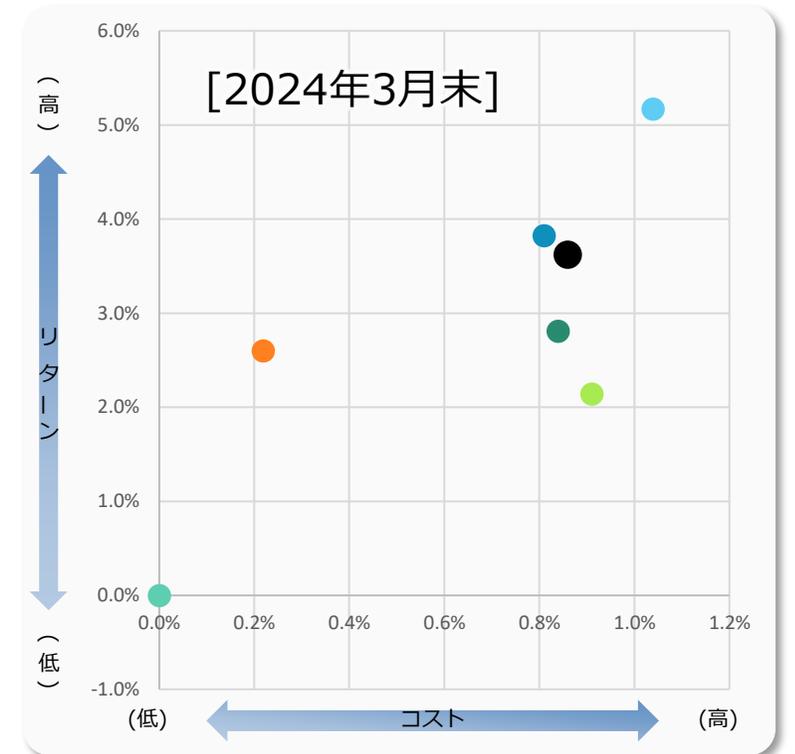
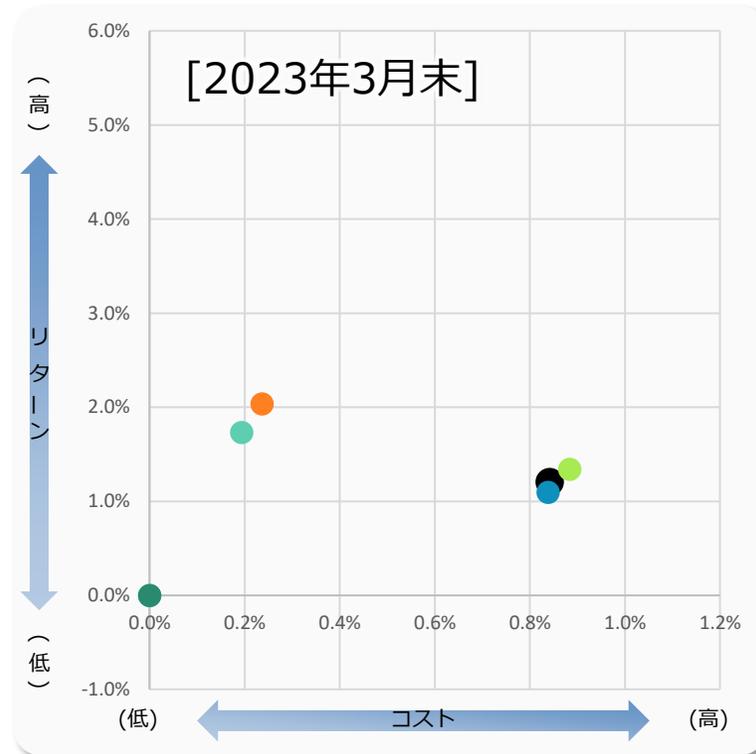
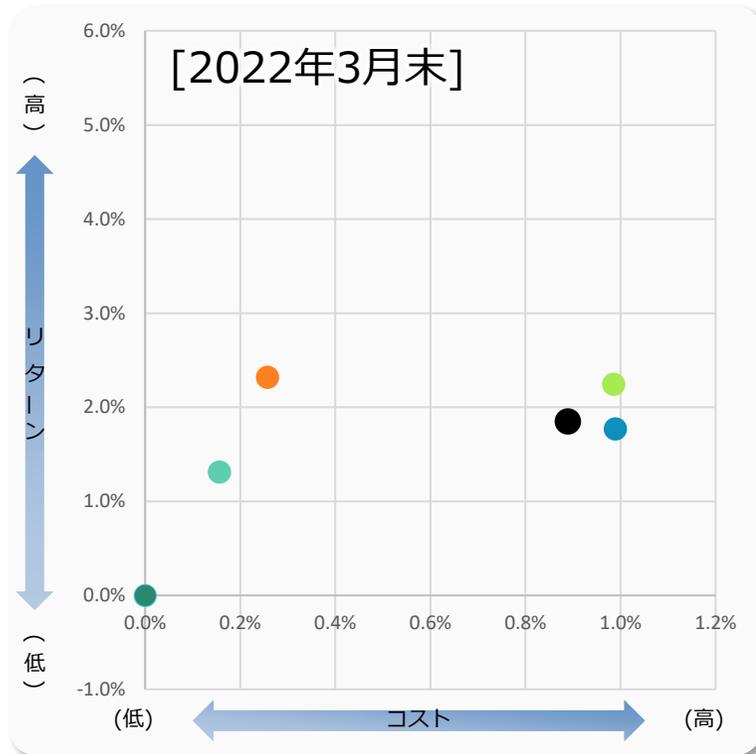
対象商品： 基準日時点で対象のお客さまが保有している外貨建一時払保険商品

運用損益率：  $\frac{\text{基準日の解約返戻金額} + \text{基準日の既支払金額} - \text{契約時点の一時払保険料}}{\text{契約時点の一時払保険料}}$ （いずれも円換算）を契約時点の一時払保険料（円換算）で除して算出

## 【共通KPI⑥】 外貨建保険商品の銘柄別コスト・リターン

- 外貨建保険商品の各銘柄について、平均コストと平均リターンを表示しています。
- 2024年3月末現在の平均コストは**0.86%**、平均リターンは**3.62%**でした。

凡例： ● ロングドリームGOLD2 ● ロングドリームGOLD ● 一時払新個人年金保険（USD建） ● 一時払新個人年金保険（豪ドル建） ● プレミアレシーブ（外貨建） ● プレミアストーリー2 ● 加重平均



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.89%	1.85%

残高加重平均値	コスト	リターン
	0.84%	1.20%

残高加重平均値	コスト	リターン
	<b>0.86%</b>	<b>3.62%</b>

## 共通KPI⑥の外貨建保険商品一覧

- 2024年3月末に5年以上保有している外貨建保険商品の一覧は以下の通りです。

商品名	引受保険会社	コスト	リターン
プレミアレシーブ（外貨建）	第一フロンティア生命保険（株）	0.81%	3.83%
プレミアストーリー2	第一フロンティア生命保険（株）	0.84%	2.81%
ロングドリームGOLD※	日本生命保険（相）	0.91%	2.14%
ロングドリームGOLD2	日本生命保険（相）	1.04%	5.17%
一時払新個人年金保険（豪ドル建）※	ジブラルタ生命保険（株）	0.22%	2.60%

※現在は取扱いしておりません。

## 共通KPI⑥の成果指標算出基準

- 基準日** : 2022年3月末・2023年3月末・2024年3月末
- 対象ファンド** : 基準日（2024年3月末）に5年以上保有している契約
- コスト** : 各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したものを。
- リターン** : 各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したものを。
- その他** : 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。  
解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

以上